

【アンケート結果】理系外国人留学生の会社選びとキャリアプラン**日本での就職は「外国人だと昇給・昇進できない」不安が半数以上（55.2%）
一方、希望勤務年数は「1社で10年以上」（32.7%）が増加し、最多に！**

理系外国人留学生の人材紹介を強みとする株式会社オリジネーター（所在地：東京都渋谷区、代表取締役：長谷部裕樹）は、当社が運営する外国人留学生就職情報サイト『リュウカツ®』（<https://www.ryugakusei.com/>）の登録者を対象に日本での就職に関するアンケートを実施し、調査結果がまとまりましたので発表いたします。回答者の理系外国人留学生の多くは高学歴で日本語レベルが高く、本調査からこの層のキャリア指向などが見えてきました。

【調査概要】

調査名：『第2回 理系外国人留学生の会社選びとキャリアプランに関するアンケート』

対象者：当社が運営する、外国人留学生就職情報サイト『リュウカツ®』の登録者

調査方法：インターネット調査（日本語と英語で調査） 調査期間：2020年10月～11月 有効回答数：297名

調査目的：当社は、2006年より企業向けの外国人材採用支援・留学生を中心とした外国人材就職支援事業を開始。特に、理系外国人留学生の採用支援を強みとしています。本アンケートは、理系外国人留学生の実態を調査することで正確なニーズを把握するとともに、業界データとして活用していただくことを目的に実施しております。

<ポイント>**● 就職企業を選ぶ際に重視する点は、“高い給与水準”と“グローバルな仕事”**

理系外国人留学生が就職企業を選ぶ際に重視する点として、1位「給与水準が高い」（39.7%）、2位「グローバルに仕事ができる」（39.1%）となりました。さらに今年は、「職場環境や社風が合う」（34.0%）、「外国人社員の採用実績がある」（16.5%）、「残業が少ない」（12.5%）などの割合が高くなり、外国人が働きやすい職場や、受入れ体制がしっかり整っている職場を重視する傾向が強まりました。

● 「外国人だと昇給・昇進できない」不安がある一方、「1社で10年以上働きたい」が最多に

日本で就職するにあたって不安なことは、「外国人だと昇給・昇進できない」という回答が半数以上（55.2%）になりました。外国人材が抱く不安を払しょくするためには、処遇や評価制度を可視化することがポイントになり、これらを取り入れて、活躍を後押ししている企業が彼らにとって魅力的な企業と言えます。一方、1社で何年働きたいか聞いたところ、「10年以上」という回答が32.7%（昨年比5.1pt増）と最多となり、中長期的な視点でキャリアを考える理系外国人留学生が増えていることもわかりました。

● 理系外国人留学生の強みは、“グローバルな視野”と“母国と日本の文化・慣習を理解”

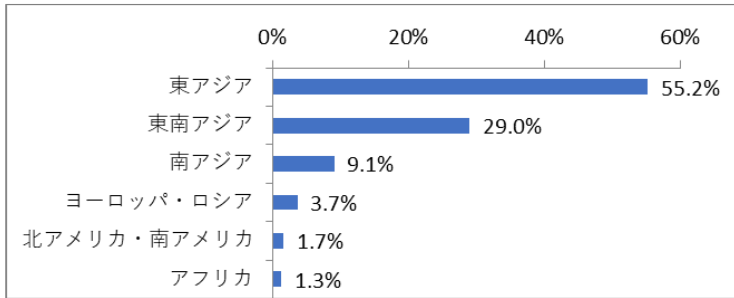
外国人であることの強みは、「グローバルな視野を持っている」（71.0%）と「母国と日本それぞれの文化・慣習を理解している」（67.7%）がそれぞれ約7割となりました。なお、昨年と比べて、「グローバルな視野を持っている」（71.0%）は12.9pt増、「母国と日本それぞれの国民性を理解している」（48.8%）は11.0pt増と大幅に上がりました。

● 新型コロナの影響で、日本での就活が「計画通り進まなかった」が半数以上

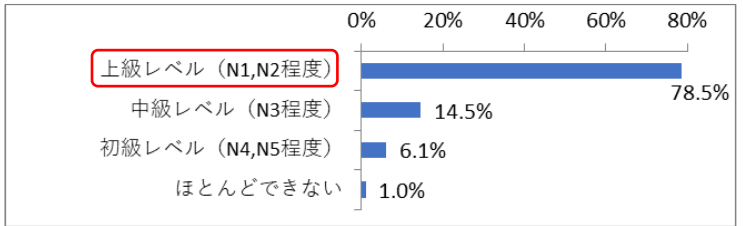
新型コロナウイルス感染拡大を受け、就活で影響が大きかったこととして、「就活イベントや面接が中断・延期となり、計画通りに進まなかった」（52.5%）が半数を超えました。もともと留学生にとって日本での就活は、採用情報が不足していたり日本式の就活に不慣れなことから戸惑う留学生も多い中、さらに今年はコロナの影響によって苦勞したことがうかがえます。

【回答者の属性】 『リュウカツ®』登録者の特長である、高学歴で日本語レベルが高い理系留学生在が多数

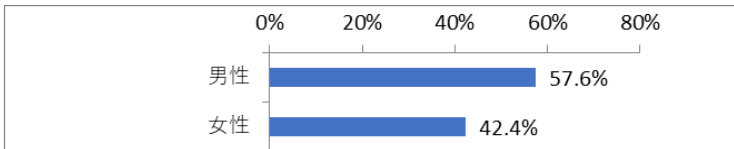
出身地域（※）



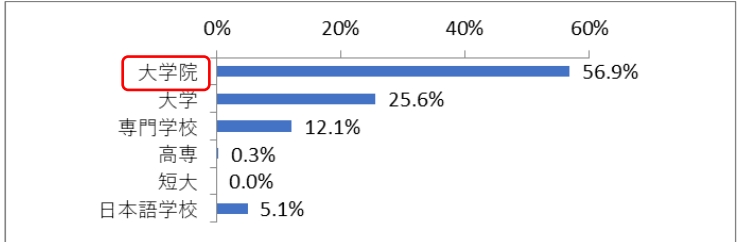
日本語のレベル：上級レベル（N1,N2程度）が8割近く



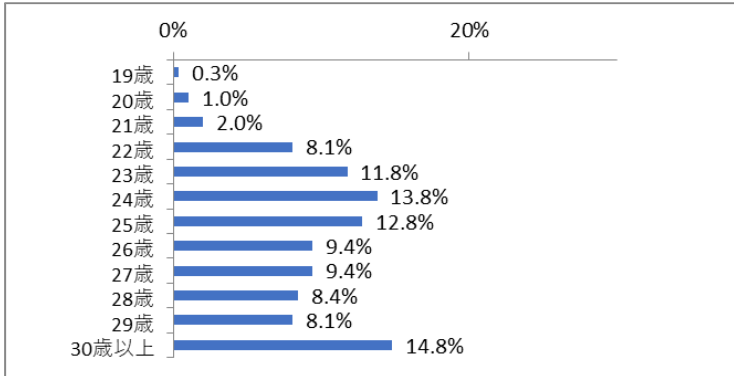
性別



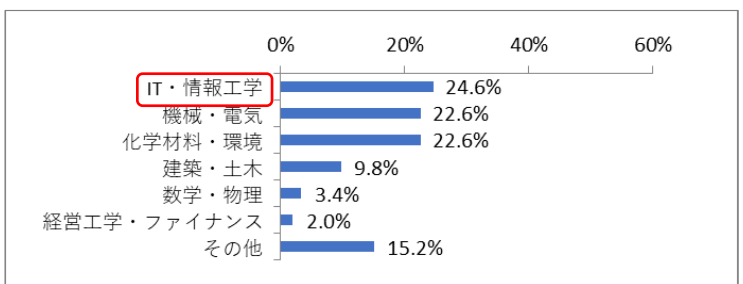
学校の種類：大学院が約6割



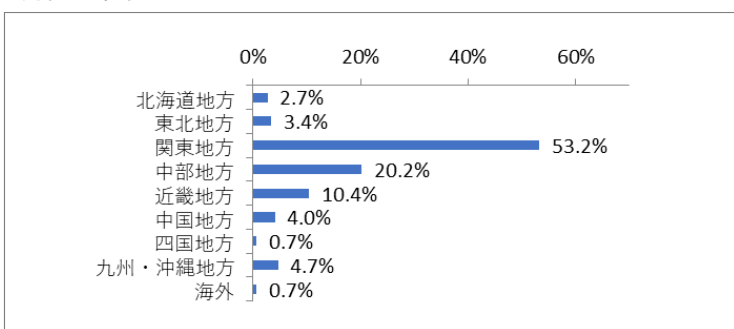
年齢：



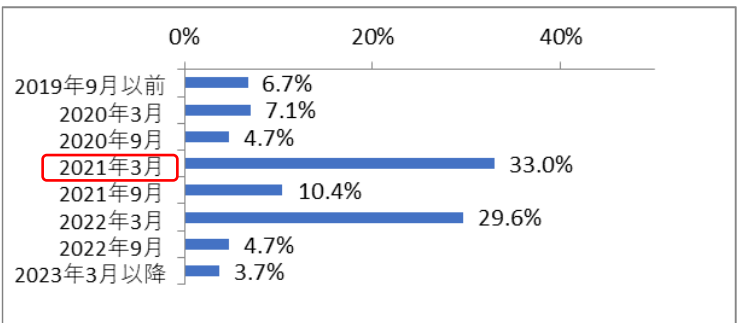
専攻分野：「IT・情報工学」が最も多く、約1/4



現在の居住地



卒業年：2021年3月卒（今年就活を行った層）が3割以上



※ 出身地域に含まれる国

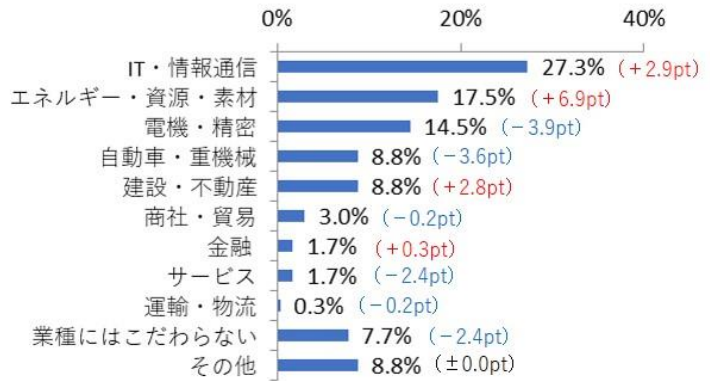
- ・ 東アジア（中国、韓国、台湾、中国香港、モンゴル、その他）
- ・ 東南アジア（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、その他）
- ・ 南アジア（インド、ネパール、スリランカ、バングラデシュ、パキスタン、その他）
- ・ ヨーロッパ・ロシア（イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、ロシア、北欧、その他）
- ・ 北アメリカ・南アメリカ（アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、その他）
- ・ アフリカ（エジプト、エチオピア、その他）
- ・ オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド、その他）

※グラフ内の(+) (-)の数字は、昨年比を表しています。

Q 1. 就職したい業種は？ (単一回答)

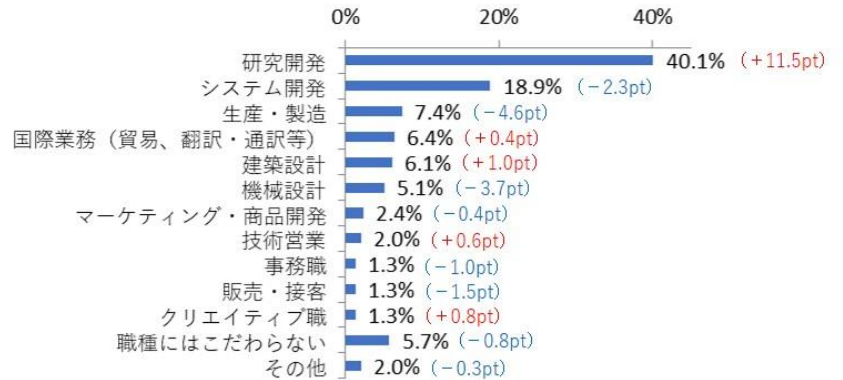
●「IT・情報通信」(27.3%)が昨年同様、一番人気の業種となりました。回答者属性の専攻分野でも「IT・情報工学」(24.6%)が最も多かったことから、学校で学んだ専門性が活かせる業種を希望していることがうかがえます。

●また、昨年4位だった「エネルギー・資源・素材」は6.9pt増の17.5%となり、2位にランクアップ。人気が高まっていることがわかります。



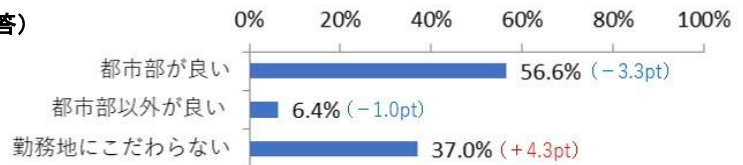
Q 2. 就きたい職種は？ (単一回答)

●「研究開発」(40.1%)が昨年同様、トップとなりました。回答者の大学院生の比率が昨年に比べ増えていることも理由の1つと考えられますが、昨年から11.5ptも大幅に増えて人気が高まっていることがわかります。



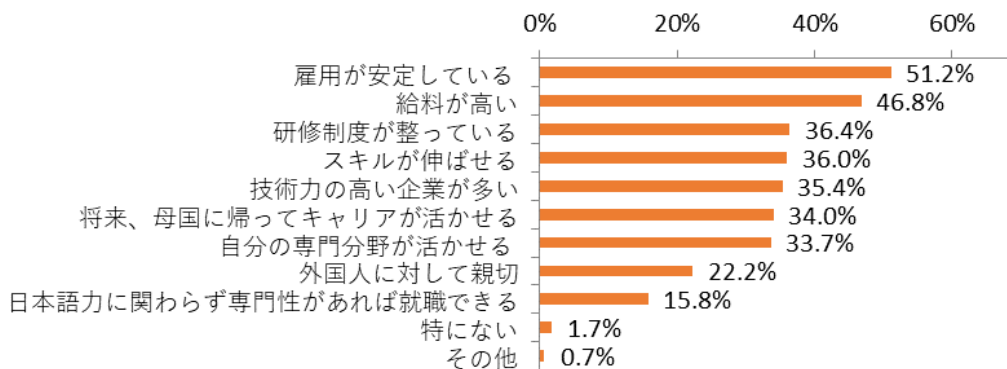
Q 3. 勤務地にこだわりはありますか？ (単一回答)

●6割近く(56.6%)が「都市部が良い」と回答する一方で、「勤務地にこだわらない」という回答も昨年より微増し、4割近く(37.0%)となりました。



Q 4. 日本企業に就職する魅力は？ (複数回答)

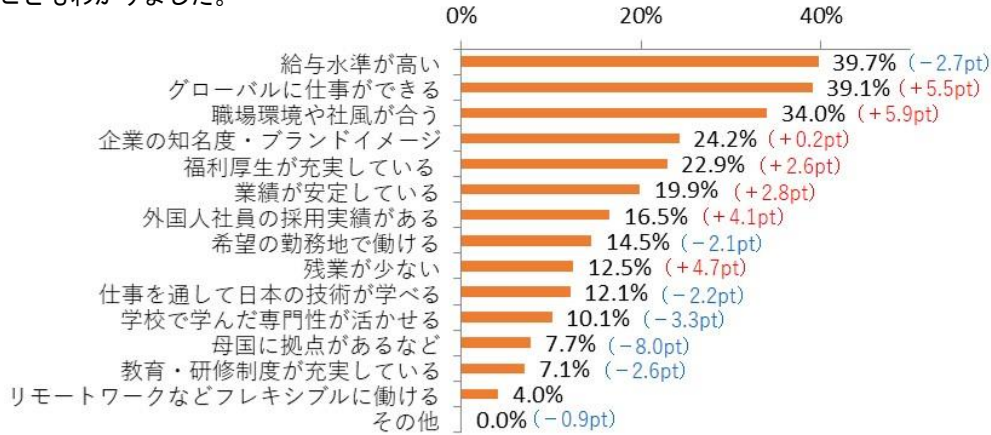
●「雇用が安定している」(51.2%)が最も多く、次いで「給料が高い」(46.8%)という結果になりました。理系人材は、日本人でも不足傾向にあり、高い専門知識や技術があれば、国籍問わず採用したいという企業も少なくありません。外国人である留学生にとっても、雇用が安定していて給与水準が高い日本企業は魅力に感じているようです。



Q 5. 就職企業を選ぶ際に、重視する点は？ (3つまで選択可)

●「給与水準が高い」(39.7%)、「グローバルに仕事ができる」(39.1%)の2つがそれぞれ約4割となりました。特に「グローバルに仕事ができる」は、昨年から5.5pt増加しています。

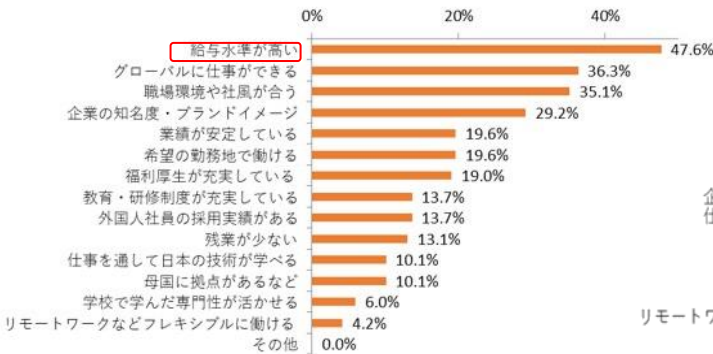
●さらに今年は、「職場環境や社風が合う」(34.0%、5.9pt増)、「外国人社員の採用実績がある」(16.5%、4.1pt増)、「残業が少ない」(12.5%、4.7pt増)などの割合が高くなり、外国人が働きやすい職場や受入れ体制がしっかり整っている職場を重視する傾向に。一方、「母国に拠点がある等、母国との関りがある」は昨年の15.7%から8.0pt減の7.7%になり、あまり重視していないこともわかりました。



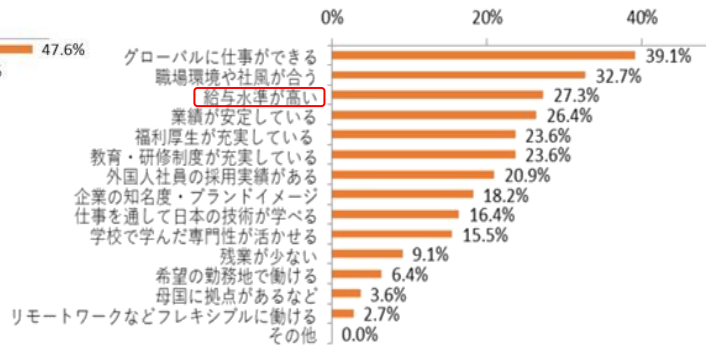
※クロス集計

「勤務地は都市部が良い」と「勤務地にこだわらない」の回答でクロス集計を行ったところ、勤務地は都市部が良い人はこだわらない人に比べて、「給与水準が高い」が20.3ptも高い結果になりました。一方、勤務地にこだわらない人は、「給与水準が高い」(27.3%)よりも、「グローバルに仕事ができる」(39.1%)や「職場環境や社風が合う」(32.7%)を重視していることがわかりました。

【勤務地は都市部が良い】

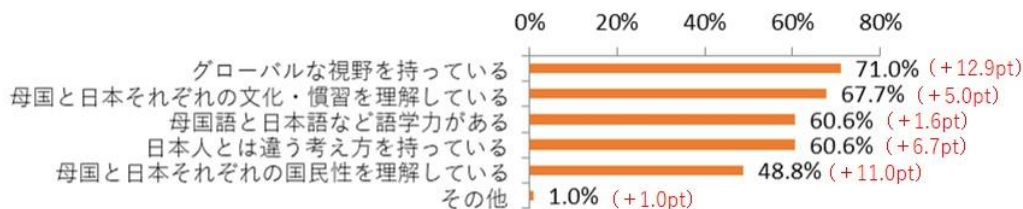


【勤務地にこだわらない】



Q 6. 日本人に比べて、外国人であることの強みは何だと思いますか？ (複数回答)

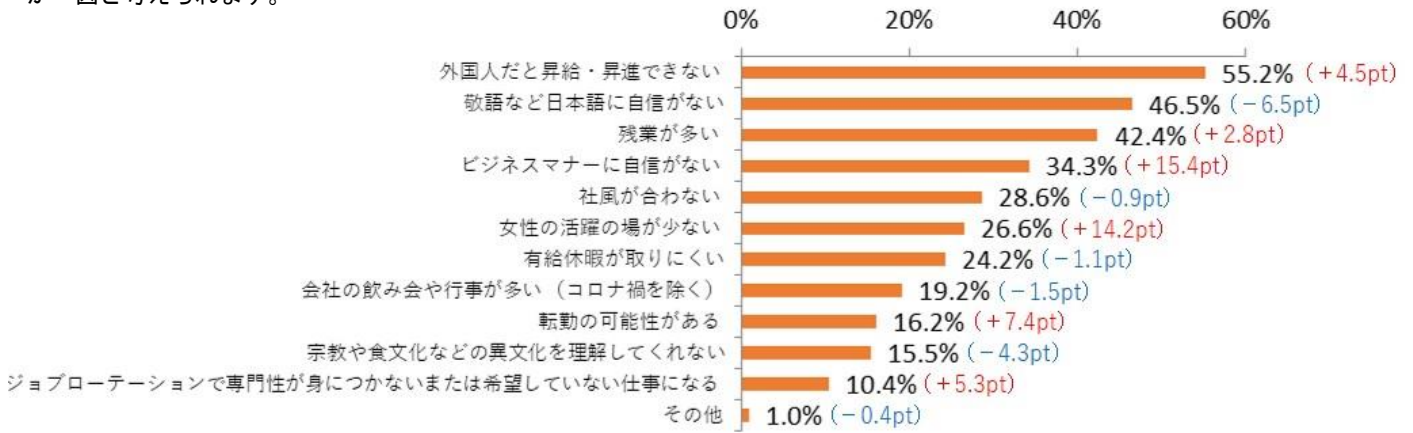
●「グローバルな視野を持っている」(71.0%)と「母国と日本それぞれの文化・慣習を理解している」(67.7%)がそれぞれ約7割となりました。なお、昨年と比べて、「グローバルな視野を持っている」(71.0%)は12.9pt増、「母国と日本それぞれの国民性を理解している」(48.8%)は11.0pt増と大幅に増加しました。



Q 7. 日本で就職するにあたって、不安なことはありますか？（複数回答）

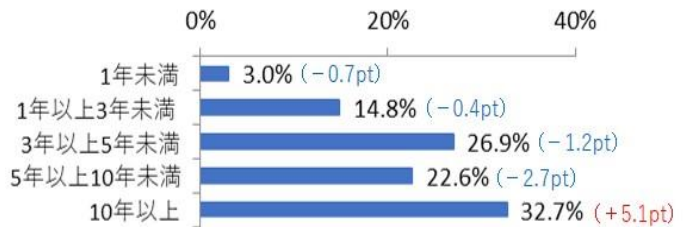
●「外国人だと昇給・昇進できない」という回答が半数以上（55.2%）となりました。企業側の課題として、外国人として正しく評価されないのではという不安を感じさせない、丁寧な説明や配慮が必要と言えます。

●また、「ビジネスマナーに自信がない」（34.3%、15.4pt 増）、「女性の活躍の場が少ない」（26.6%、14.2pt 増）は昨年から大幅に増えました。「女性の活躍の場が少ない」に関しては、昨年に比べてアンケート回答者の女性比率が上がっていることが一因と考えられます。



Q 8. 日本の企業に就職した場合、1社で何年ぐらい働きたいですか？（単一回答）

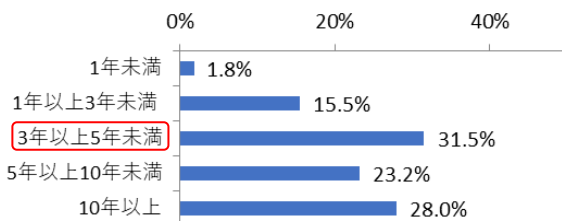
●昨年に比べ、「10年以上」（32.7%）が5.1pt 増え、それ以外は微減していることから、希望勤続年数が高くなっている傾向が見られます。Q4 で、日本企業に就職する魅力は「雇用が安定している」（51.2%）が最も多かったことから、コロナ禍で留学生も安定志向を求めていることがうかがえます。



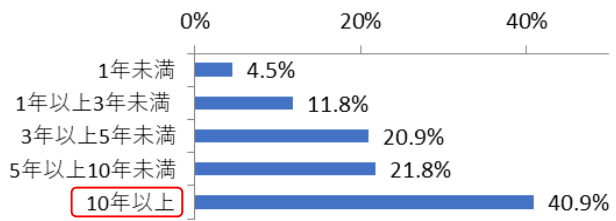
※クロス集計

「勤務地は都市部が良い」と「勤務地にこだわらない」の回答でクロス集計を行ったところ、勤務地は都市部が良い人は「3年以上5年未満」（31.5%）が最も多く、勤務地にこだわらない人は「10年以上」（40.9%）が約4割と最も多い結果に。都市部が良い人よりも希望勤続年数が高いことがわかりました。

【勤務地は都市部が良い】



【勤務地にこだわらない】



Q 9. 日本の企業に就職した場合、どのようなキャリアプランを考えていますか？（単一回答）

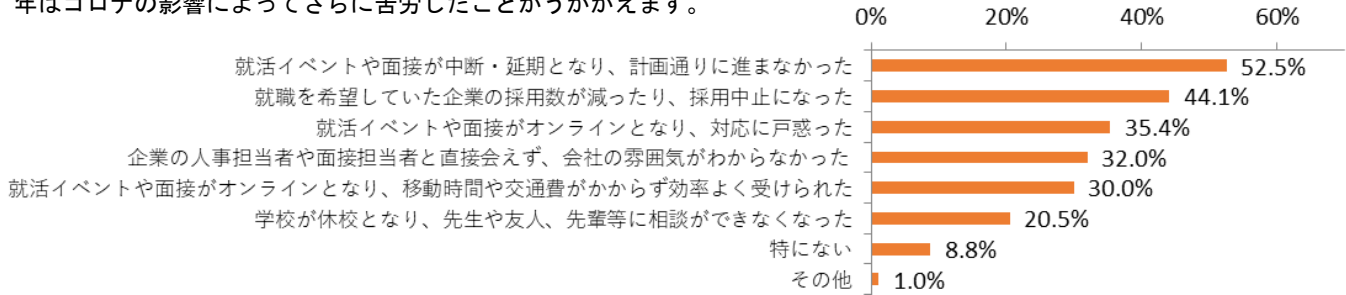
●「1つの企業でできるだけ長く勤めたい」という回答が約半数（46.5%）となったものの、「機会があったら転職したい」（23.6%）が昨年から7.5pt 増え、転職に対して積極的な考えを持つ層も一定数いることがわかりました。



<新型コロナに関する質問>

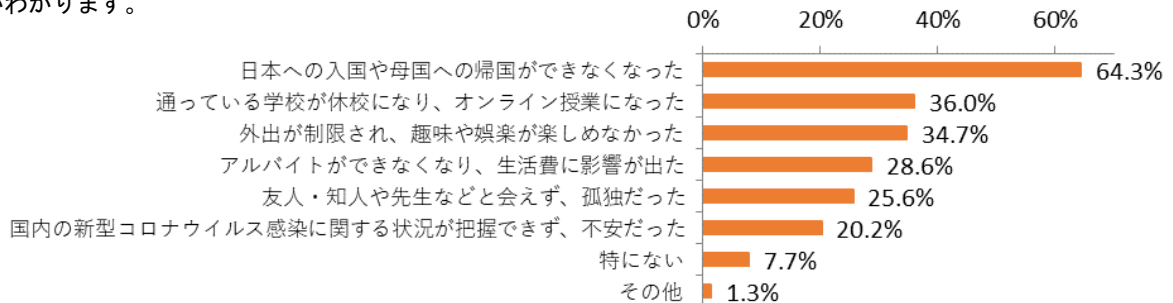
Q10. 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、就職活動で影響が大きかったことは？（複数回答）

「就活イベントや面接が中断・延期となり、計画通りに進まなかった」（52.5%）が半数を超え、最も多い結果となりました。もともと留学生にとって日本での就活は、採用情報の不足や日本式の就活に不慣れなことから戸惑う留学生も多い中、今年コロナの影響によってさらに苦労したことがうかがえます。



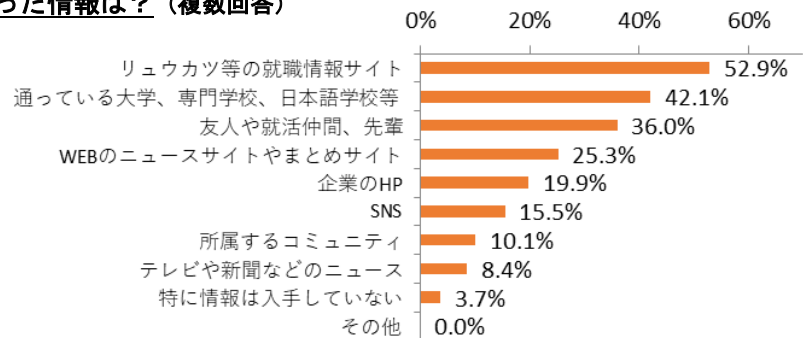
Q11. 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、就職活動以外で影響が大きかったことは？（複数回答）

「日本への入国や母国への帰国ができなくなった」（64.3%）が6割以上となりました。また、「アルバイトができなくなり、生活費に影響が出た」（28.6%）、「友人・知人や先生などと会えず、孤独だった」（25.6%）など生活面や精神面でも影響が大きかったことがわかります。



Q12. コロナ禍の就職活動で最も役に立った情報は？（複数回答）

「リュウカツ等の就職情報サイト」（52.9%）が最も多い結果となりました。コロナ禍で学校などの窓口などで相談することが難しい中、企業の採用情報や就職イベントが効率よく探せる就職情報サイトを活用していることがわかりました。



■株式会社オリジネーター (<https://originator.co.jp/>)

2006年より企業向けの外国人材採用支援・留学生を中心とした外国人材就職支援事業を開始。外国人留学生就職情報サイト『リュウカツ®』は、理系外国人留学生の採用支援を強みとしており、外国人留学生・教育機関（主に大学）・企業の人事担当者の三者と連携を取りながら、外国人採用トータルサービスを提供しています。

[代表者] 代表取締役 長谷部 裕樹 [設立] 2001年12月 [資本金] 1,000万円

[所在地] 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-19-12 monpartie 北参道6階

[主な事業内容] 外国人材採用支援事業『リュウカツ®』 <https://www.ryugakusei.com/>

[事業許可] 有料職業紹介事業許可番号 (13-ユ-300900) 一般労働者派遣事業許可番号 (般13-ユ-302460)

<本件に関するお問合せ先>

(株)オリジネーター 広報担当 山本 Tel: 03-6432-9390 e-mail: info@originator.co.jp
 オリジネーター広報事務局 (株)アネティ真壁・川口 Tel: 03-6421-7397 e-mail: makabe@anety.biz